

ひとのあいだ

2024年10月15日

備前市立日生中学校 掲示版

「ひとのあいだ」は、日生中学校の様子（学校・生徒の取り組み）を知っていただき、ご家庭と連携・協働していくため、そして《地域と共にある学校》の取組の一環として随時お届けします。

市社会福祉協議会からの依頼に応えた1人の生徒有志が8日、「赤い羽根共同募金」への寄付を呼びかける街頭活動を学区のスーパー・パオーネ日生店で行つた。



（平田知也）

赤い羽根募金協力を

有 日生中
志 生町日生
（備前市日
生町日生）

日生中
スーパーで呼びかけ
い物客が募金箱に寄付

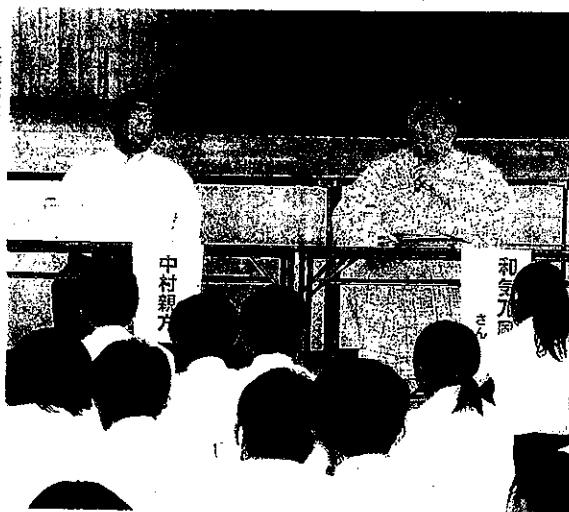
17日午後4時半からも同店で取り組む。市社協によると、日生中は昨年度から赤い羽根共同募金の街頭活動に協力している。

日生で輝く 日生が輝く

すると、「ありがとうございます」と礼を言つて赤い羽根入りのティッシュを手渡した。45分間にわたって活動。生徒会副会長を務める2年萩野柚月さん（13）は「困っている人の助けに少しでもなれば。次も多くの人が寄付してくれたらうれしい」と話した。

17日にも、ぜひボラチャレンジ！→申込みは教頭先生へ（あと三名程度で〆切）
2024年（令和6年）10月12日 土曜日 備前 28

備前



「夢を諦めず挑もう」

大相撲中村部屋合宿
和氣乃風出身 和氣乃風
母校で親方と講演

5年）の相撲会場になる2年前、本宿のため和氣町を訪れている。初日は部屋所属で町出身の三段目・和氣乃風（31）が母校の和気中（同町泉）を訪れ、全校生徒約200人を前にキヤリア教育講演会に臨んだ。町

教育講演会で思い出などを語る和氣乃風（右）と中村親方
（左）

中村親方 人に言はれて育つものではない。自分で感じながら出来上がっていくものではない。大事なのは好きなことに真剣に取り組む姿勢。だから楽しいし、心底悔しい。悔しい思いをしないために何が必要か考え出すと、おのずと稽古の質も高くなっています。
これから壁にぶつかっていくのである。生徒へメッセージを。
和氣乃風 夢を諦めたらいで終わる。継続して挑んでほしい。
親方 困難を一人で解決するのではなく、苦しい時は誰かが手を差し伸べてくれる生き方をしてもらいたい。（平田知也）

玉野支社 0863-31-3434
備前支局 0869-64-2263
瀬戸内支局 0869-22-3444
赤磐支局 086-952-0049
福渡支局 086-722-0372

10.23は、ひな中には、鳴門部屋さん来校

人との出会いを大切に。「夢・進路」を考えよう。